

2023 年度 個人研究実績・成果報告書

2024 年 4 月 25 日

所属	基盤教育機構	職名	教授	氏 名	磯山友幸
研究課題	諸組織体におけるアカウンタビリティ及びガバナンスの研究				
研究キーワード	アカウンタビリティ、ガバナンス、企業倫理		当年度計画に対する達成度	2.順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が達成できた	
関連するSDGs項目	8. 働きがいも経済成長も	10. 人や国の不平等をなくそう	16. 平和と公正をすべての人に	17. パートナリーシップで目標を達成しよう	

1. 研究成果の概要

政府による学校法人のガバナンス改革に向けて、私立学校法の改正が 2025 年 4 月に迫る中、大学関係者や法曹界、ガバナンス問題関係者の間で対応準備が進められているが、そうした中でも大学学校法人の不祥事が相次いでいる。経営改革中の日本大学では大麻問題が発覚、更なるガバナンス改革が問題になっている。ガバナンス専門家や高等学校を含む関係当事者へのインタビューなどを実施して議論を進め、論評記事の発表等を行なった。また、日本ガバナンス研究学会でも企業経営への女性参加などダイバーシティをテーマとした研究シンポジウムが開催され、メインのパネルディスカッションのコーディネート・司会を担当した。引き続き、天下りなど国家のガバナンスに関わる問題が発生しているほか、企業統治に絡む投資家の動きなども調査の上、積極的な論評活動を行なった。規制改革を主導してきた経済学者らと共に発起人として関わり、設立した「制度・規制改革学会」を軌道に乗せるべく、分科会の設置・運用などを積極的行なった。

2. 著書・論文・学会発表等

【論文（査読あり）】

加藤寛の「総合政策学」研究の試論（影浦亮平准教授と共同執筆）国際言語文化学会「日本学研究」第 9 号

【著書・論文（査読なし）】

- ・「空港施設」社長人事介入問題で明らかになった霞が関の組織的天下り 「抜け穴」までもが「政官業」癒着とは（講談社「現代ビジネス」4 月 3 日）
- ・麹町 75 平米月 8 万円、赤坂 82 平米月 12 万円…超格安の「国会議員宿舎」はいったいなぜ必要なのか「議員宿舎」に家族と秘書しか入れない理由（プレジデントオンライン、4 月 20 日）
- ・なぜ東大トップ層は「国家公務員」から「外資コンサル」に流れたのか…人事院の「週休 3 日策」が示す的外れ本当の問題は「ワーク・ライフ・バランス」ではない（プレジデントオンライン、5 月 2 日）
- ・岸田政権が目指す「労働移動」促進で「構造的賃上げ」は実現するか 30 年ぶり高水準で問われる「持続性」（講談社「現代ビジネス」5 月 9 日）
- ・「子供のため」と言われれば誰も反対できない…官僚のポストを増やすだけの「こども家庭庁」の残念さ「幼保一元化」にはノータッチという非力ぶり（プレジデントオンライン、5 月 10 日）
- ・キャノン御手洗氏、薄氷再任の衝撃（CFO フォーラム 5 月 15 日）
- ・「豊田章男会長再任反対推奨」されても、トヨタが投資家にやたら低姿勢になる理由 「JPX プライム 150 指数」構成銘柄落ち影響か（講談社「現代ビジネス」6 月 1 日）
- ・株主提案、最多の 90 社~もはや「シャンシャン」では乗り切れないガチンコ株主総会 モノ言う株主が日本企業を変える（講談社「現代ビジネス」6 月 23 日）
- ・台湾と日本の NPO が連携、「国会監視」のネットワークはアジアに広がるか 実は脆弱、日本の民主主義意識（講談社「現代ビジネス」7 月 1 日）
- ・上場企業の資格なし「空港施設」で前代未聞の社長再任否決に続き社外監査役が辞任 国交省以上に問題な

天下り体質とは（講談社「現代ビジネス」 7月6日）

- ・女性取締役は日本企業の「文化」を変えるか（CFO フォーラム 7月18日）
- ・「ビッグモーター」の自動車保険不正、動き出した「金融庁」と「国交省」の“狙い”は何か…？（8月1日）
- ・「ふるさと納税」1兆円に迫る。総務省の抵抗にもかかわらず3年連続最高を記録 国民は圧倒的に支持、寄付文化定着へ（講談社「現代ビジネス」 8月3日）
- ・「ビッグモーターの不正体質は社長交代では絶対に消えない」残り続ける"大株主"という根本問題 本当の意味で経営陣を刷新するしかない（プレジデントオンライン、 8月3日）
- ・林真理子氏の「やっぱり、お飾り理事長でした」を自ら体現してしまった日本大学記者会見の「席次」（講談社「現代ビジネス」 8月28日）
- ・「ビッグモーター」「ジャニーズ」は「超金利政策」のあだ花 問われる銀行と取引先の責任（新潮社「フォーサイト」 9月12日）
- ・「駅前ですらタクシーがつかまらない」それでも"ライドシェア解禁"が遅々として進まないワケ 岸田首相は"既得権者"と"国民"のどちらを選ぶのか（プレジデントオンライン 10月31日）
- ・岸田政権に「泣きっ面に蜂」の派閥資金不記載問題～首相が「政治とカネ」に厳しい姿勢を取れないワケ（講談社「現代ビジネス」 11月28日）
- ・「林真理子さんを助けてやってくれ」就任 1年以上経っても林理事長が日大改革を進められない"根本原因"カギを握るのは「ド派手なスーツの強力な助っ人弁護士」（プレジデントオンライン 12月8日）
- ・「立候補するために2億円払った」と吐露する議員も…パーティー券問題だけではない"自民党が抱える闇"の深さ 有能な若者が国会議員になる道をふさぐ"悪しき慣行"（プレジデントオンライン 12月22日）
- ・2024年は「不正」にまみれた日本社会と 決別できるか？（CFO フォーラム 1月19日）
- ・自民党・政治刷新の数少ない目玉が派閥へのナンチャッテ「外部監査」、本当に政治資金は透明になるのか（講談社「現代ビジネス」 1月26日）
- ・自民党「裏金」問題はパーティー券を「買う側」の問題に行きつく。問われる財界の姿勢 経団連は「何が問題なのか」（講談社「現代ビジネス」 2月15日）
- ・ついに損保が「政策保有株」ゼロに。日本の「株式持ち合い」制度にトドメで日本企業の「緩い経営」が変わる？（講談社「現代ビジネス」 3月1日）
- ・政治倫理審査会が開かれたが「説明責任」は説明すれば良いわけではない。もはや「政治不信」どころか「政治家への絶望」（講談社「現代ビジネス」 3月16日） 他

【学会発表等】

- ・2023年5月 日本政治法律学会 政治家講演泉健太立憲民主党代表への討論者として登壇
- ・2023年6月 台湾「公民館特国会連盟」シンポジウムでパネリスト
- ・2023年6月 日本メディア学会 報告への討論者として登壇
- ・2023年7月 未来を創る財団「定住外国人セミナー」に登壇
- ・2023年10月 日本ガバナンス研究学会シンポジウム・パネルディスカッションコーディネーター
- ・2023年10月 日本政治法律学会 政治家講演太田房江参議院議員への討論者として登壇

3. 主な経費

学会参加のための交通費等

4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）